
岐阜県立華陽フロンティア高等学校

学校長 増田 智至

学校住所 岐阜市西鶉6-69 電話 058-275-7185

1 会議の名称 令和2年度 岐阜県立華陽フロンティア高等学校 学校評議員会（第1回）

2 会議の構成

委員	廣瀬富久夫	本校同窓会長
	前田 貴子	本校地域創生キャリアプランナー
	松波 克臣	前鶉自治連合会長
	南谷 東子	人権擁護委員
	山口 永真	本校同窓生

（委員名は五十音順）

学校側	増田 智至	校長
	増田 泰志	副校長
	川瀬 隆	定時制課程教頭
	堀 英男	通信制課程教頭
	高橋 明	事務部長
	山村奈美子	定時制課程教務主任
	山田きよみ	通信制課程教務主任

3 会議の目的 令和2年度の学校目標達成のため、学校運営等について地域住民や関係機関の代表者等から幅広く意見を聴き、地域社会から支援や協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 令和2年7月10日（金）書面開催

5 会議の概要

テーマ1 学校運営、外部から見た本校の様子について

意見1 教育指導の重点、具体的な取り組み計画を見させていただいて、生徒ひとりひとりに向き合って個性を尊重し伸ばしていこうとされている学校の姿勢がわかる。ソーシャルトレーニングは「自立」という目標のために考える力、人との関わり方など生きるための能力を育成していただけた取り組みとしてとても良いと思う。

意見2 少人数制クラスや柔軟な単位認定制度などは、多様な在り方を認める上で、大いに役立っていると思う。また、「少人数コミュニケーション講座」のことを初めて知った。このような指導を受けさせたいと思っておられる方はきっと多いと思う。

意見3 マイペース・マイプランは、一般においても“理想的な生き方”として捉える人が多くなっている。時間や行動を自身でマネジメントする力を養うことは、人生を切り開く力を養っていることであり、理想的な生き方につながる。進路相談の場面では、通信制での学びを“強み”として捉え、生徒の自信、自己実現につながるよう、より一層の支援をお願いしたいと思う。

回答 通信制での学習は、自学自習が基本になっている。自己の時間を管理しながら、計画的にレポートの作成に取り組む学びのスタイルが定着するよう、一人一人に対して支援や指導を行っている

る。今後は、それがさらに時間や行動管理のマネジメント力の育成に繋がり、将来の進学や就職でのストロングポイントになるよう、進路指導の面でも力を入れていきたい。

意見 4 様々な問題をかかえている生徒たちが学びやすい環境を作っている点は素晴らしいと思う。学校への登校が少ない中でも、クラスで協力して行う行事等を通してコミュニケーション力を高めていけるところも素晴らしいと思う。

テーマ 2 新型コロナウイルス感染症関連について

意見 5 新型コロナウイルスの影響で、学校では3密の対策をしながら教育をすることになる。そのことにより、人と人とのつながりが分断され、話し合いや討論などができず生徒が孤立しないか心配している。

回答 従来のようにはいかないが、創意工夫をしながら行っている。また、心のアンケートを数回実施することで、孤立している生徒等がいらないか見守っている。

意見 6 新型コロナウイルスで様々な影響を受け、不安や焦りを持っている生徒に対しても各担任がケアしているところも素晴らしいと感じている。

回答 面談などを通して不安や焦り等がある生徒には早めに対応しており、必要に応じてスクールカウンセラーや社会福祉士等に取り次ぐなど、担任だけで抱え込まずにチームとして取り組んでいる。

6 会議のまとめ

本校の取り組みについて、概ねご理解いただいた。

本校に対する期待も大きく、ご指摘いただいた内容について真摯に受け止め、全職員で課題解決に取り組み、今後の学校運営に生かしていきたい。